

地域密着通所介護事業所「ソラノイロ芝公園」

第4回（2023年度後期）運営推進会議議事録（2023年度）

開催日時 2024年6月17日

場所 ソラノイロ芝公園

参加者

ご利用者様：KK様

ご家族：RH様（KH様妻）

地域住民代表：MT様（芝地区民生委員）

当該サービスに係る専門識者：YT

ソラノイロ芝公園管理者：YK

会議資料を以下に記載します。

- ① 施設概要 ※新パンフレットをご覧ください。
- ② ソラノイロ芝公園の日常業務※10つの特徴をご覧ください。
- ③ 通所されている利用者の方々について（ご年齢、男女比、平均介護度） ※別紙①
- ④ 職員の体制 ※別紙②
- ⑤ イベント ※別紙③
- ⑥ 事故やヒヤリハットの状況および今後の改善策 ※別紙④
- ⑦ 防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況 ※別紙⑤
- ⑧ 地域との連携 ※別紙⑥
- ⑨ 虐待防止委員会について
- ⑩ 感染症対策委員会について

別紙①通所されている利用者様の状況様

2024/3/31 現在				
NO	イニシャル	男女	介護度	年齢
1	T様	女	1	87
2	N様	女	2	92
3	M様	男	3	86
4	S様	男	1	79
5	K様	女	1	69
6	I様	女	3	84
7	M様	男	2	87
8	H様	男	2	90
9	I様	女	1	88
10	E様	女	1	92
11	E様	女	1	92
12	I様	女	2	87
13	I様	男	3	82
14	S様	女	1	78
15	T様	女	1	82
16	O様	女	1	86
17	O様	女	1	90
18	U様	女	1	82
19	K様	女	1	87
20	W様	女	1	77
21	K様	女	2	74
22	D様	女	1	85
23	N様	女	2	86
24	N様	女	2	94
25	M様	女	3	86
26	S様	男	4	90
27	K様	女	4	76
28	N様	女	1	87
29	M様	男	2	77
30	K様	女	1	94
31	M様	女	2	75
32	O様	女	1	91
33	O様	女	2	92
34	A様	女	1	80
35	K様	女	1	80
36	M様	男	2	82
37	K様	女	2	90
38	S様	女	2	72
39	K様	男	2	83
40	S様	女	1	80
41	Y様	女	2	90
男女比		9対32		
平均介護度		1.7		
平均年齢		84		

別紙②スタッフの体制

社員	4名
社員男性	4名
社員女性	0名
パート	7名
パート男性	0名
パート女性	7名
2022年(4-12月)採用者数	11名
2022年(4-12月)離職者数	2名
2023年(1-3月)採用者数	3名
2023年(1-3月)離職者数	1名
2023年(4-12月)採用者数	4名
2023年(4-12月)離職者数	2名
2024年(1-3月)採用者数	0名
2024年(1-3月)離職者数	2名
ボランティア数	11名

別紙③ イベント

NHK 放送博物館へ外出



上野動物園へ外出



農大博物館へ外出



芝浦レストラン外食レク



増上寺へ外出



港区郷土歴史館へ外出



別紙④ヒヤリハット、事故の状況および今後の改善策

内容	改善策
介助がいる方が突然立たれて歩行介助が間に合わなかった。	フロー全体に介助の視点を取り、必要な場合には瞬時に動く。
昼食後、立ち上がりフローを徘徊しそうになっている途中に床においている体重計に引っ掛かり転びそうになった。	体重計を使わない時は移動し、歩行の邪魔になるので移動する。
帰りの送迎時送迎車から降りてエントランス歩行中に体制を崩され転倒しそうになった。	その日の歩行状態を見極めて必要な方にはマンションの廊下も介助する必要がある。
入浴時血圧が高めなのに入浴してしまった。	入浴前の血圧を必ず確認し、必要な場合には再測定をしなければならないことを徹底した。
食後の薬服用を忘れるところだった。	ベット休憩する方をスタッフで常に共有しておく。
送迎の乗車時足が引っ掛かり転びそうになった。	薬チェック表の確認を徹底する。
送迎時、マンションエレベーターの閉まる扉にぶつかりそうになった。	焦らずゆっくりと乗車してもらう。
送迎時の乗車時に利用者様がふらついた。	扉をしっかりと抑えることを徹底する。
朝の手洗い時に洗面台に向かう際によろめいて転びそうになった。	しっかりとサポートする。
お風呂の立ち上がり時滑り止めから足がずれ少し滑った。	声掛けを後ろから行ってしまった。必ず横から前の方から声掛けをする。
お風呂時、利用者様が立ち上がろうとし手摺を持った時手摺がずれてしまった。	滑り止めのマットが正常な位置か確認してから立ち上がりをしてもらう。
歩行介助が必要な利用者が一人でフローを徘徊していた。	浴槽につける手摺はしっかりとつける。
トイレの入り口スライドドアの取っ手を利用者様がかんだ時にスライドドアが外れてしまった。	スタッフは常に広い視野でフローを見ているようにする。
送迎車中に利用者様が窓を開けようとした時に間違えてドアを開けそうになった。	ドアロックを必ずすることを徹底した。

別紙⑤防災・避難・通報・初期消火訓練の実施状況（2023年度）

2024年2月17日（火曜日）

参加者：スタッフ5名（YK、K、S、S、F）

利用者6名（S様、I様、I様、T様、MW様、M様）

① 最近の防災の状況の映像鑑賞

② 防災・避難訓練の大切さを議論

冬季間の火事や地震による災害などが想定される。初期消火の消火作業は大事だが、避難、通報が大事になります。

③ 避難訓練実施

まとめ：まずはスタッフが落ち着いた対応をしなければいけません。分担をしっかりと事前に決めて置き、適切に指示誘導などをしなければいけません。また、ご利用者様は非常に動揺されると考えられるのでできるだけ冷静な対応が必要となってきます。いずれにしても繰り返し訓練を行うことが必要です。

別紙⑥ 地域との連携

① 港区の社会福祉協議会内のボランティア担当の部署と連携しボランティアを探している。



② 「東京タワー学会」（東京タワー周辺の介護事業所、病院などに努めているスタッフが地域に貢献できるように専門的知識などを共有する場）主催の学習会への参加や学習会の共催。



管理者より報告

1、ソラノイロ芝公園が置かれている状況

開所して丸2年が過ぎました。コロナの猛威が収まらない時期で色々ありましたが、徐々に利用人数も増えて平日は平均12名程に到達いたしました。これもひとえに良い関係者様に恵まれたからにつきです。やさしいご利用者様、親身にご利用者様のことを思うご家族様、ご利用者様ご家族様の代弁者としてご利用者様の利益を守ろうとされる専門的なお仕事をされるケアマネジャー様、良い地域を作ろうと奮闘されている地域住民の皆様、本当に温かい熱い場所で仕事ができ良かったと実感しています。また、この間に悩まされてきたコロナが、5類に変わったからといって病気の質が変わったわけではありません。感染症対策をしっかりとしながらも、サービスの質に影響されないだけの利用者様ファーストのサービスを目指します。

2、日常の活動について

午前中の活動は「回想・会話レクリエーション」「体操」が主なプログラムであることは変わりません。月曜日のみ「回想・会話レク」ではなく「機能訓練体操」をしています。「回想・会話レク」では、曜日によっても善し悪しがあるのですが、選択した題目がヒットして、ご利用者様のお話しが非常に盛り上がる日、題目が外れてシーンとしている方が何人もおられる日などあります。出来るだけご利用者様のご興味があるお話し、内容に話が膨らませられるように司会者の努力が問われています。司会者の力量により質が変化いたします。

午後からは「創作活動」「麻雀」「運動レク」「おやつ作り」「外出レク」など、その日に適したプログラ

ムを行います。前回も述べましたが最近「運動レク」に対する参加要求が強くなってきています。出来るだけ全身の運動になり、楽しく、幼稚でなく、安全な時間を提供できるように日々模索している最中ですが、徐々にではありますが良いものになってきています。

3、利用者様の男女構成比は、男性比が22%です。前回と変わりありません。平均年齢は84才でした。平均介護度は1.7です。これも前回とほとんど変わりありません。

4、スタッフの構成は別表②の通りです。

5、ヒヤリハット・事故報告ですが、転倒に関するものが多いですが、服薬ミスにつながるものや入浴時の血圧を規定通りに測れなかったケースなどありました。

6、イベントは利用者様が楽しみにしている外出レクが主です。ただなかなか冬になると減少してきます。さらに人数が増えていくと企画しにくくなるという問題も抱えています。

7、避難訓練は2024年2月17日（火曜日）に開催できました。今後も年2回以上開催していきます。

8、地域との関わりは前回と変わらず、港区社会福祉協議会様とボランティア活動を通して深く関わらせて

頂いています。

9、10 虐待防止、感染症対策についてはソラノイロ芝公園の各自マニュアルを参照して下さい。

意見交換

YT：「機能訓練体操」を担当していますYTです。機能訓練体操では、皆さん良く集中して参加して下さい。ソラノイロはリハビリ施設とは違って高齢者の方が、楽しく体を動かし元気になることが目的です。実際に皆さん「機能訓練体操」を一生懸命取り組んで下さいます。それにより、体もそうですが心も落ち着かれて健康になれます。また、声を出すことも大事な機能訓練になります。色々工夫し行っています。今後も質の良い「能訓練体操」を提供出来たらと考えています。

RH様：夫がいつもお世話になっています。自宅で2人暮らしです。夫は月曜から金曜日まで利用しています。夫は最近認知症が進行してきました。ケアが大変ですけど、私も足が悪いので、助け合って生活しております。周りの支えがあって在宅生活が維持できています。ソラノイロにも平日利用できるのも本当に助かっています。本人もソラノイロで体を動かすことをとても楽しみにしています。

KK様：私はソラノイロに通ってからそんなに立っていないのですが、利用中は楽しいことばかりです。自宅まで迎えにきてもらって、様々なレクリエーションができて言うことなしです。来られる方も皆さん良

い方ばかりで楽しいです。自宅では一人ですので、ソラノイロにきて同じ境遇の方がいることがわかりました。今後も楽しく利用していきたいです。

MT 様：民生員をしている MT です。地域の高齢者にも関りを持っています。高齢になっても元気に過ごしている皆さんのお話を聞くととてもたくましいと思っています。ソラノイロなどのデイを利用していつまでもお元気に活躍していただきたいと思っています。また、地域にとってもソラノイロのようなデイサービスが必要です。

まとめ

YK（管理者）：前回同様に介護現場の厳しい状況は変わりありません。人材不足、昨今の物価の上昇、コロナによる利用控えなどなど逆風がなかなか追い風が変わりません。ソラノイロ芝公園も2月にコロナ感染がご利用者様、スタッフ含めて複数名出てしまいました。あらためて感染症対策の必要性、継続性が問われる事態になりました。今後も引き続き感染症対策を弱めることなく実行することが問われています。また、人材も良い人材を継続的に確保していくことが必要になっています。良いデイサービスを作っていくことは良い人材を確保することだと考えています。今後も、地域に必要で良いサービスを提供し続けるデイサービスを運営できるようにスタッフ一同頑張ります。